

## お使いのバージョンを確認してください。ArcSight ESM の最新バージョンにアップグレードした場合に使える機能と利点をご覧ください。

機能	利点	7.5	7.4	7.3	7.2	7.0	6.11	6.9
Full Armor 連携	この連携により、SOC は Active Directory のユーザーとグループを使用して ArcSight ESM のユーザー / グループのメンバーシップを管理できます	●						
ArcSight SOAR 連携	ArcSight SOAR を ESM のネイティブソリューションとして使用できるため、リアルタイム検知と脅威への自動対応を組み合わせることができます	●	●					
インタラクティブ API ドキュメント	Swagger の連携により、REST API への標準ベースのアプローチがサポートされます	●	●	●				
ArcSight Recon との統合ストレージのオプション	統合リモートストレージにより、ESM のイベントを統合ストレージリポジトリに転送して ArcSight SecOps プラットフォーム全体で使用することができます	●	●	●				
Web ベースの共有 UI ダッシュボード	モジュラーウィジェットにより、カスタマイズされた最新の実用的なセキュリティダッシュボードを構築できます	●	●	●	●			
MITRE ATT&CK ダッシュボード	お客様の環境のすべての MITRE ATT&CK 関連イベントのリアルタイムビューとお客様の SOC が頻繁に直面した脅威の手法を表示します	●	●	●	●			
CIRCL MISP 連携	専用のコネクタにより、最大級のオープンソース脅威インテリジェンスプラットフォームである CIRCL MISP の脅威インテリジェンスを ArcSight ESM と連携します	●	●	●	●			
グローバル ID	一意な ID を割り当てることにより、単一の既知のイベント ID を使用して ArcSight ポートフォリオ全体でイベントをトラッキングできます	●	●	●	●			
ServiceNow 連携	ESM のケースを ServiceNow ITSM にエクスポートできます	●	●	●	●	●		
分散相関	処理速度の向上とフェールオーバー処理の提供のために複数のインスタンスのコリレーターとアグリゲーターをデプロイすることにより、クラスターあたり最大 10 万 EPS まで相関を拡張することができます	●	●	●	●	●		
IPv6 接続のサポート	IPv6 通信により、ArcSight のコンポーネントと高可用性 ESM クラスターが相互に通信できます	●	●	●	●	●	●	
ArcSight Command Center の拡張	ダークテーマの UI、ダッシュレットの CSV ファイル保存、ダッシュボードからチャンネルへの遷移などの新機能が追加されています	●	●	●	●	●	●	
Command Center の使用指標	ESM 使用レポートに直近 30 日間の 1 日ごとの EPS と GB をグラフまたはグリッドで表示できます	●	●	●	●	●	●	●
ネットワーク経路評価	ツールコマンドユーティリティにより、チャンネルイベントで使用されるネットワーク上の接続を評価できます	●	●	●	●	●	●	●

お問い合わせ先：[CyberRes.com](https://www.cyberres.com)

マイクロフォーカスエンタープライズ株式会社

[jp-info-enterprise@microfocus.com](mailto:jp-info-enterprise@microfocus.com)

[www.microfocus-enterprise.co.jp](https://www.microfocus-enterprise.co.jp)

787-JA0001-001 | M | 06/21 | © 2021 Micro Focus or one of its affiliates. Micro Focus および Micro Focus ロゴは、英国、米国、およびその他の国における Micro Focus、その子会社、関連会社の商標または登録商標です。その他すべての商標は、該当する所有者に帰属します。

**CyberRes**  
A Micro Focus Line of Business